



# 最新切抜きトピックス

## 【保証金半額くん】

不動産仲介会社・ビル管理会社様必見！  
制約率のアップにつながる安心のサービスです。



### ▼10/3【MJ15面】

飲食店物件の保証金半額「肩代わり」インフォーマットが仲介

→食材の電子商取引システムを運営するインフォーマットは、飲食店の出店コストを軽減できる保証サービスを展開する。賃貸契約時に発生する物件の保証金の半額を肩代わり保証するもので、保証会社であるフィナンシャルギャランティ(東京・豊岡社長)と組む。飲食店の多店舗展開を支援することで、外食市場の活性化につなげる。「保証金半額くん」の名称で、フィナンシャルギャランティが1日から運用を開始した。店舗を賃貸する際は、賃料の7~10ヵ月分を保証金としてテナント側がビルオーナー側に預けるのが業界の慣行となっているが、同サービスでは、フィナンシャルギャランティが保証金の半分をテナントに代わって保証することで、テナント側の初期投資が減らせる仕組み。万が一、ビルオーナー側の資金繰りが悪化した時などに保証金が戻らないといったリスクも減らせる。利用できるのは法人格のある飲食店で、同社の与信審査を通れば可能。保証委託料としてフィナンシャルギャランティに賃料の3~10%を支払う。飲食店側が倒産した場合は、未払いの賃料や店舗の現状回復費用をフィナンシャルギャランティがビルオーナー側に支払う。同サービスの開始にあたり、インフォーマットはフィナンシャルギャランティに0.59%出資し業務提携をした。インフォーマットは食材の電子商取引システムを運営しており、飲食店を中心に現在846社、1万8460店舗が利用している。顧客に保証サービスを紹介し、新規出店を支援することで、自社システムの利用店舗の拡大も狙う。新規顧客開拓のきっかけにも活用したい考えだ。インフォーマットには、同社を通じて保証サービスを利用する飲食店1件につき、フィナンシャルギャランティから手数料が入るといふ。

益々スマートフォンが便利になりますね。  
私も便利なアプリを探してダウンロードの毎日です(^v^)

### ★団体旅行の迷子防止アプリ開発、仲間で位置情報共有 (10月26日付7面)

九州大学の荒川豊助教は、団体旅行の参加者や添乗員が互いの位置や撮影した写真を共有できるスマートフォン(高機能携帯電話)向けアプリケーションソフトを開発しました。

全地球測位システム(GPS)でスマホの位置を検知して、自由時間中のメンバーの現在位置や移動経路を画面の地図上で確認できます。メンバーが飲食店などの感想や写真を投稿すると、地図中にメッセージや写真が表れます。迷子防止や旅行者の行動分析などの手段として、旅行会社などの利用を見込みます。

### ★カカコム、食ベログの有料サービス拡充 (11月11日付7面)

カカコムはグルメサイト「食ベログ」事業で利用者向けと外食店向けのサービスを強化します。

今年度中に同サイトで外食店の予約サービスを始めるほか、店舗紹介やスマートフォン(高機能携帯電話)向けなどの店舗向け有料サービスを拡充し、課金体制も見直しました。一段の利用拡大を図り、同事業を主力の価格比較サイト「価格.com」に次ぐ収益の柱に育てる方針です。

我々も展示会のチラシ配布の際や飛び込み営業などに大いに利用させていただいております。先日、お邪魔した住宅街にある飲食店のオーナーも食ベログに載るようになってからお客様が増えたとおっしゃっていました。

### ★日本産食品「買う」3分の2、中国の消費者、ジェトロ調べ (11月4日付4面)

日本貿易振興機構(ジェトロ)の調査によると、中国の消費者の3人に2人は日本産の食品を購入する意向である事がわかりました。

調査はインターネットを利用し、北京や上海など中国5都市の消費者1500人の回答を集計しました。輸入された日本産の食品について、11.7%が「気にせず買う」、55.4%が「ある程度買う」と回答。一方、21.4%が「なるべく買わない」、4.2%は「絶対買わない」と答えました。原発事故を受け、中国では日本産の食品の輸入が制限されているものの、潜在的な需要は大きく、消費者の不安は徐々に払拭されつつあるようです。

復興応援団～坂井～